

令和6年度 第3学年理数コース 第3回出前授業実施報告

- 1 日 時 令和6年10月16日（水）
- 2 講 師 信州大学農学部 伊原 正喜 准教授
- 3 テーマ 「脱炭素社会・持続可能社会の解像度を上げてみよう」

持続可能な未来を考える上で重要な「脱酸素社会」の実現に向けた課題や、それに伴う社会の変革について、より深く理解を深めることを目的として行われました。伊原先生は、環境問題に対する多角的な視点を持ち、特に「脱酸素化」とはどういうことか、それが社会に与える影響について豊富な実例を交えて講義していただきました。まず、地球温暖化や環境破壊の現状に触れ、それに対するための「脱酸素社会」について説明がありました。その後、持続可能社会を築くために必要な技術革新や政策、そして個人の生活における具体的なアクションについても言及がありました。生徒たちは、伊原先生の講義を通じて、これまでの知識に新たな視点を加えることができました。特に印象的だったのは、持続可能な社会を実現するためには、科学技術だけでなく、社会制度や経済システムの変革が重要であることでした。この出前授業を通して、環境問題や持続可能性についての知識を深める貴重な機会となり、生徒たちの社会的責任感や問題解決能力を育むための第一歩となりました。伊原先生のご指導に感謝するとともに、今後もこのような授業を通じて、持続可能な未来に向けた意識を高めていきたいと考えています。

～生徒たちの感想～

- ・環境学を、堅い話ではなくもののけ姫などの例を使って説明したり、抽象的で自分たちでも考えやすい例を使って話てくれて、とても分かりやすかった。
- ・政治家さん達にも早く広まってエネルギー問題を解決してほしい。
- ・とても丁寧に教えて下さり分かりやすかった。
- ・石油や石炭などの地球由来のエネルギーは有限であり、どのようにしてエネルギーを節約するかについても大切だが、再生可能エネルギーによって新しいエネルギーを開発していくのも大切だと知りました。

